

ひかりのこ

1月園便り

聖ミカエル幼稚園

2013年1月22日発行

月主題：あしたもしろね

冬休みの預かり保育では、10人程度の少人数のためか、子ども達がゆったり遊べます。また、クラスや年齢を飛び越えて、子ども達同士のきずなも深くなるようです。朝8時半から10時半まで、次々登園した子ども達がホールで遊び始め、ホールではおままごと、車輪の付いた大きなブロックで遊びます。子ども達の遊びは何度も繰り返すことや、メンバーによって少しずつ変化していきます。先日もブロックでお家を作っていましたが、今まで見たことのないようなしゃれた屋根が付きました。「雪がお家に入ったら大変だからね！」との事です。おうちはどんどん広くなり、何人もの子どもが入れるようになりました。やっぱり子ども達は遊びの天才ですね。大人が気づかないような発想でどんどん遊びは展開していきます。そして、一人ではなくお友達と一緒に遊べたことが嬉しくて、「あしたもしろね。」とお約束をします。子ども達のきずなの深まりが、お互いを成長させるのです。

いよいよ今日から3学期。年長さんにとっては幼稚園で過ごす最後の学期、小学校への足掛かりとなる幼稚園での集大成の学期とも言えます。また、年中さん年少さんにとっても次年度へつながる大切な学期です。

短い期間ですが、雪遊びや制作や、お別れ会の準備を通して子どもたちがわくわくして登園し、一つでも二つでも何かを吸収して欲しいと願っております。

今学期も、そして今年も神様のお守りの中で、ご家庭の皆さん、教会の皆さん、ご近所の皆さんのご協力を得て、大人みんなで子どもたちを見守り成長させていきたいと思っております。

聖ミカエル幼稚園、職員一同、どうぞよろしくお願ひいたします。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

新年おめでとうございます。

新しい年が始まりました。三日坊主という言葉もありますが、今年はいかがでしたか。今は全世界が1月1日を新しい年の初めの日、即ち「元旦」と思っていますが、1622年、キリスト教会が1月1日を新しい年の初めにすると決める前までは3月が新しい年の初めでした。

キリスト教会が1月1日を新しい年の初めの日と決めた理由は、12月25日の降誕日にお生まれになったイエス様が1月1日、教会に行って祝福してもらってから、イエスと名づけられた日であるからです。イエスと言う名前の意味は、「すべての人を救う方」という意味です。新しい年だからといって何もかも新しくなるわけでもなく、やはりこの世の中にはいろいろ何かが起こるものです。ですから、教会は、イエス様がすべての人を救う方であるということを知って、新しい年を始めましょうという意味でこの日を新しい年の初めの日にしたのです。

今年も1月1日から、2013年という新しい年が始まりました。どうか、この新しい一年は、ミカエル幼稚園に連なるすべての人々が「すべての人を救う方」という意味の名前を持っているイエス様によって助けられる一年でありますように。そして、それぞれ抱えているさまざまな混乱と課題からイエス様の助けによって解決される毎日であるように祈ります。「**マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。幼子はイエスと名付けられた。これは、胎内に宿る前に天使から示された名である。**」(聖書)

チャブレン ジョシュア 司祭 李 香男